

2010年3月期 第2四半期決算説明会

2009年10月28日

NECキャピタルソリューション株式会社

リースの、

そのつぎへ

1. 2010年3月期 第2四半期実績報告

- 1) 事業環境
- 2) 業績概要
- 3) 事業別収益
- 4) 事業別営業の状況
- 5) 与信関係費用
- 6) 資金調達の状況

2. 第3次中期計画の進捗状況

- 1) 第3次中期計画の概要
- 2) 事業ポートフォリオ戦略の進捗状況
- 3) 経営機能強化戦略、ガバナンス強化策/CSR強化策の進捗状況

3. 2010年3月期計画

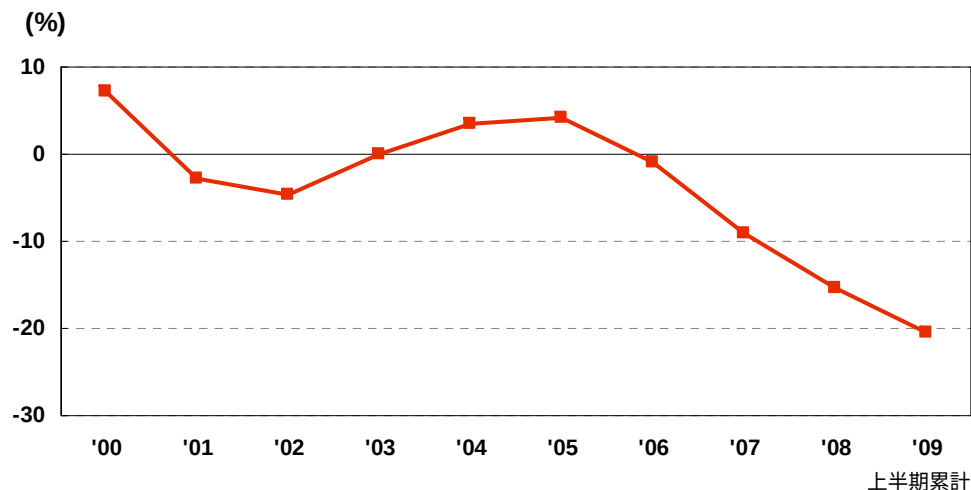
- 1) 業績予想

1. 2010年3月期 第2四半期実績報告

1) 事業環境

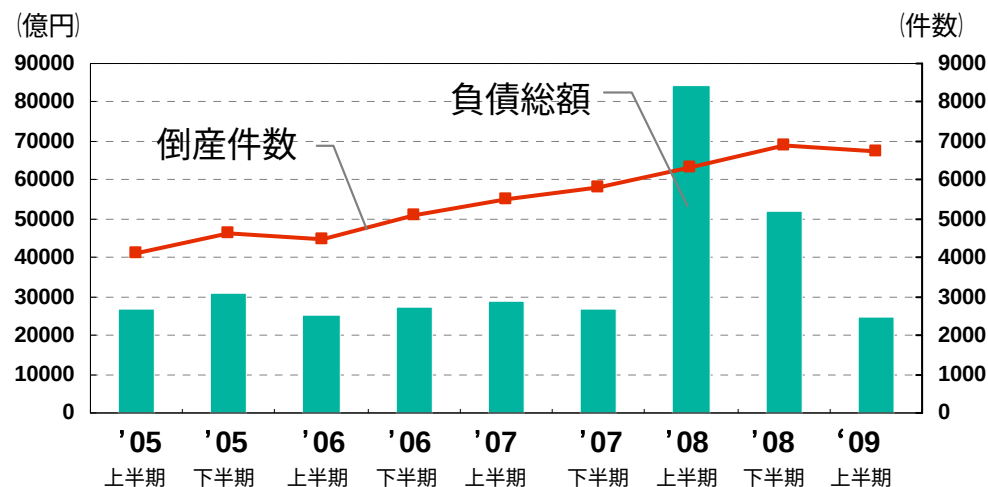
- 設備投資の減少・リース会計基準変更によるリース取扱高の減少
 - ・2009年度上半期リース取扱高 前年同期比**20.5%減** (社団法人リース事業協会 (リース統計より))
- NECビジネスの変化
 - ・ハード販売→ソリューション販売→サービス化
- 不良債権の増加に一定の歯止め
- 過度な金融不安の沈静化による資金調達環境の改善

■ リース取扱高前年度比推移



(社団法人リース事業協会:リース統計より)

■ 倒産状況 (負債総額/件数)



(帝国データバンクHP:倒産集計より)

1. 2010年3月期 第2四半期実績報告

2) 業績概要 (連結)

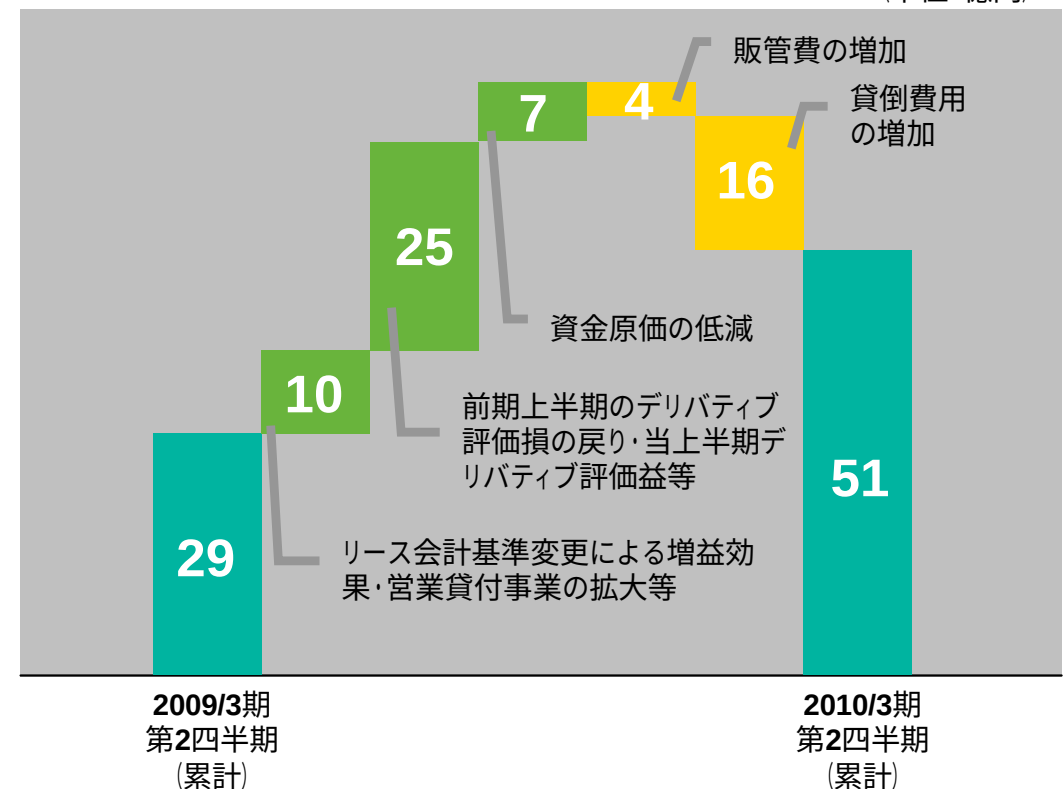
- 売上高は、新規リース契約の不振等により前年同期比**124億円減の1,189億円**
- 営業利益は、貸倒費用が増加したものの、リース会計基準変更に伴う増益効果やデリバティブ評価益、資金原価の改善等により前年同期比**21億円増の51億円**
- 純利益は投資有価証券の減損損失計上 (**17億円**) 等により前年同期比**3億円減の13億円**

(単位: 億円)

	2009/3期 第2四半期 (累計)	2010/3期 第2四半期 (累計)	前年比
売上高	1,313	1,189	△9.5%
営業利益	30	51	69.2%
経常利益	29	51	74.0%
四半期純利益	16	13	△18.5%
1株当たり四半期純利益 (円)	75.97	61.90	-
営業資産残高	7,082	6,478	△8.5%
純資産	627	576	△8.1%
自己資本比率 (%)	8.1	8.1	-
1株当たり中間配当金 (円)	22	22	-

経常利益前年同期比主要増減要因

(単位: 億円)



1. 2010年3月期 第2四半期実績報告

3) 事業別収益 (連結)

(単位: 億円)

		2009/3期 第2四半期 (累計)	2010/3期 第2四半期 (累計)	前年増減
賃貸事業	売上高	1,226	1,101	△125
	売上原価	1,121	985	136
	資金原価	33	28	5
	売上総利益	72	89	17
営業貸付事業	売上高	16	20	3
	売上原価	0	0	0
	資金原価	3	2	1
	売上総利益	13	17	5
その他の事業	売上高	70	68	△3
	売上原価	52	30	22
	資金原価	1	1	0
	売上総利益	18	37	19
計	売上高	1,313	1,189	△124
	売上原価	1,173	1,015	159
	資金原価	38	31	7
	売上総利益	102	143	41

<<賃貸事業>>

・新規リース契約実行高の減少等により売上高は前年同期比**125億円減の1,101億円**
 ・上記の影響があるも、リース会計基準変更による増益効果、資金原価の改善等により売上総利益は前年同期比**17億円増の89億円**

<<営業貸付事業>>

・一括ファクタリングの取り扱いの減少を、収益性の高い企業向け融資からの収益で補い、売上高は前年同期比**3億円増の20億円**、売上総利益は同**5億円増の17億円**

<<その他の事業>>

・売上高は前年同期比**3億円減の68億円**となったものの、デリバティブ評価益等 (**23億円**) の計上により、売上総利益は**19億円増の37億円**

1. 2010年3月期 第2四半期実績報告

4) 事業別営業の状況 (連結)

事業別契約実行高

(単位: 億円)

	2009/3期 第2四半期 (累計)	2010/3期 第2四半期 (累計)	前年増減
賃貸事業	972	825	△147
営業貸付事業	1,597	1,149	△448
割賦販売	69	31	△38
営業貸付金	1,528	1,117	△410
一括ファクタリング	938	602	△336
企業融資等その他	590	515	△74
その他事業	8	14	6
計	2,577	1,987	△590

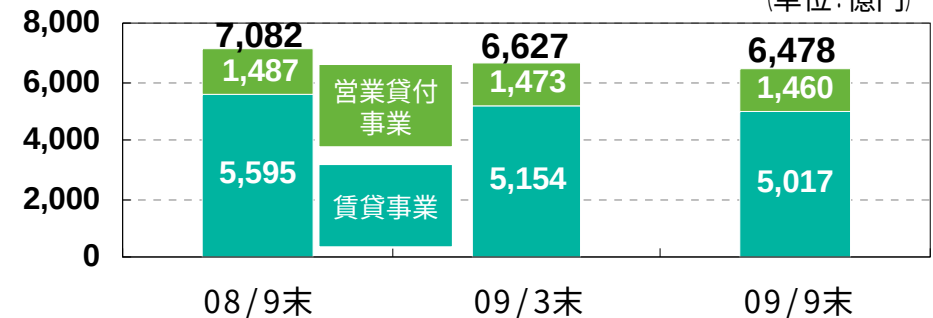
機種別賃貸事業契約実行高

(単位: 億円)

	2009/3期 第2四半期 (累計)	2010/3期 第2四半期 (累計)	前年増減
情報通信機器	759	632	△127
電子計算機及び関連装置	320	250	△71
ソフトウェア	355	328	△27
通信機器及び関連装置	83	55	△29
事務用機器	89	99	10
その他機器	124	93	△31
計	972	825	△147

営業資産残高

(単位: 億円)



<<契約実行高>>

- ・賃貸事業は、リース市場全体の縮小の影響を受け、民間向けは前年同期比**19.6%**減、官公庁・自治体向け案件は、同**8.8%**減となり全体で、**147億円減の825億円**
- ・営業貸付事業は、一括ファクタリングの減少等により前年同期比**448億円減の1,149億円**

<<営業資産残高>>

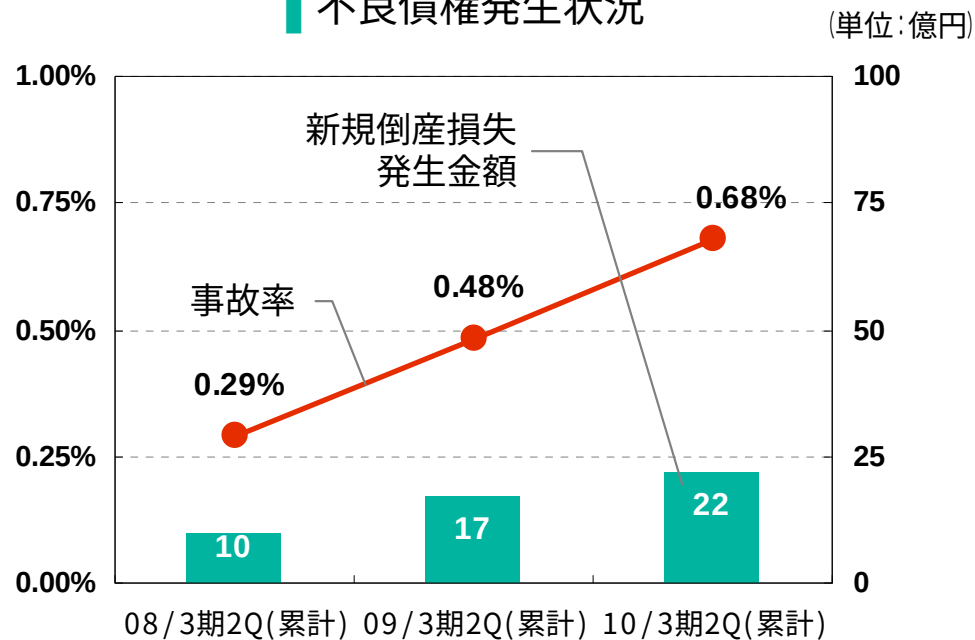
- ・賃貸事業は、上記新規契約実行高の減少に加え、前期に行ったリース債権流動化の影響により、前年同期末比**10.3%**減の**5,017億円**
- ・営業貸付事業は、前年同期末比**1.8%**減の**1,460億円**

1. 2010年3月期 第2四半期実績報告

5) 与信関係費用 (連結)

- 新規倒産損失発生金額は、前年同期比**5億円**増加
- 当第1四半期時点で、一般債権に関する貸倒引当金を保守的に計上したため、上記と合わせ与信関連費用全体では、期首見込を下回ったものの、前年同期比**16億円**増加

■ 不良債権発生状況



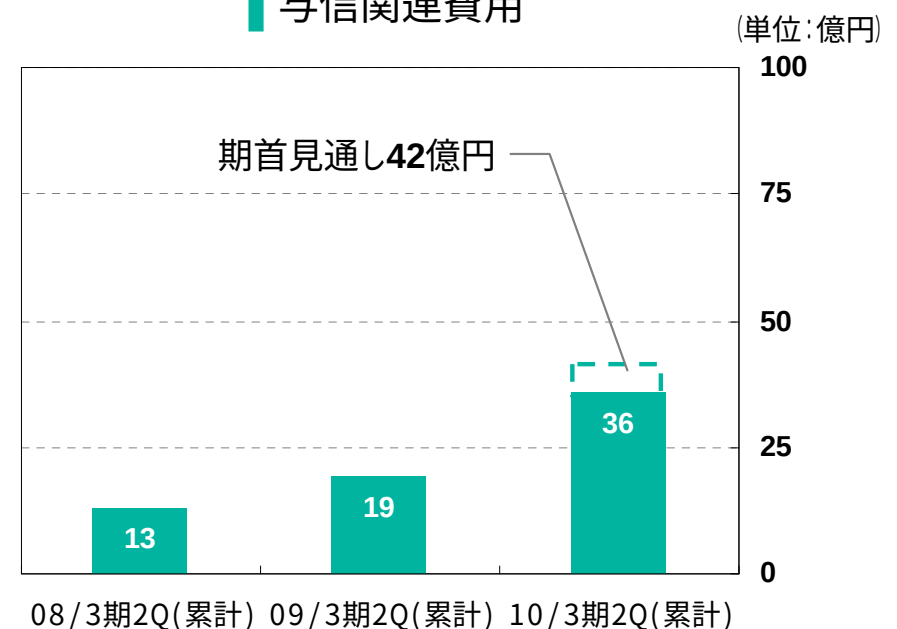
事故率 (%)

= 新規倒産損失発生金額

÷ (営業資産平残 + 固定化営業債権平残)

※ 新規倒産損失発生金額 = 破産更生債権 + 懸念債権

■ 与信関連費用

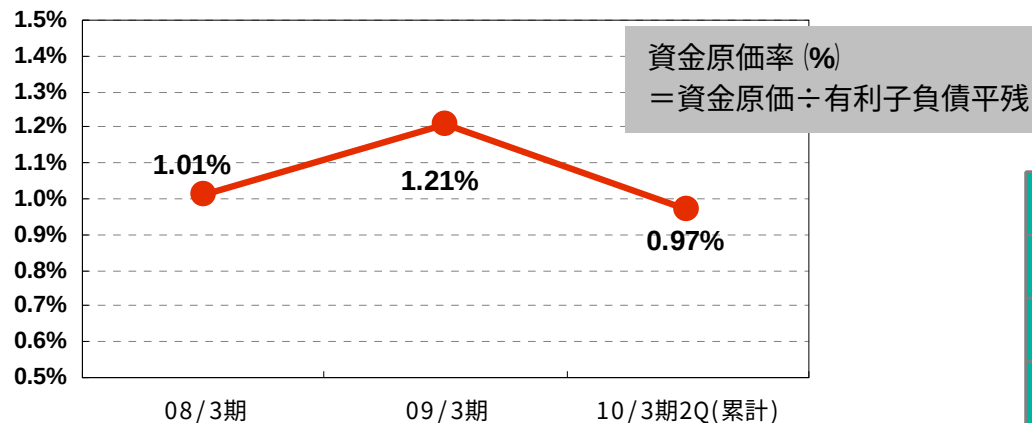


期首見通し42億円

1. 2010年3月期 第2四半期実績報告

6) 資金調達の状況 (連結)

資金原価率

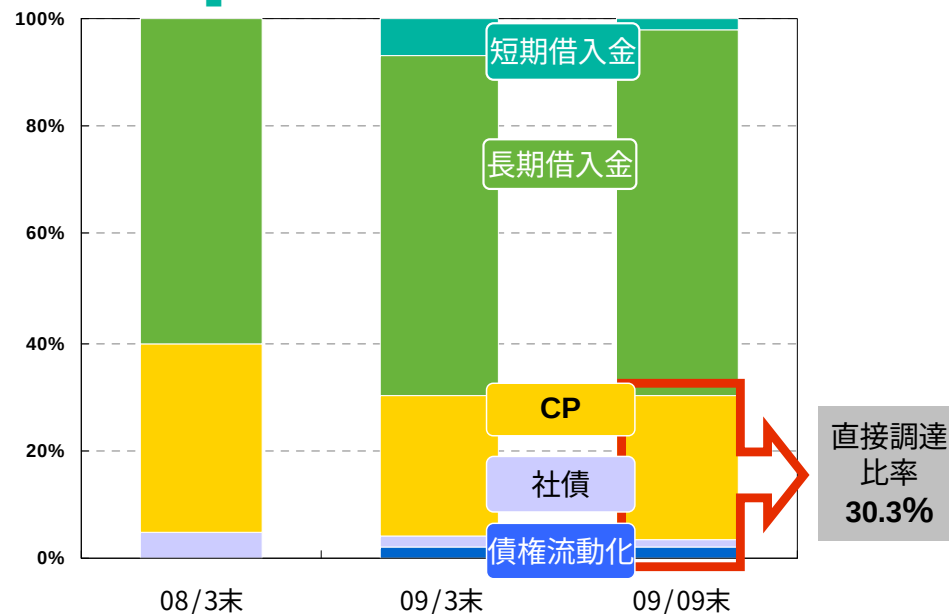


有利子負債残高

(単位: 億円)

	2009/3期末		2010/3期 第2四半期末	
		構成比		構成比
短期借入金	438	6.8%	121	2.0%
長期借入金	4,108	63.4%	4,125	67.7%
CP	1,680	25.9%	1,640	26.9%
社債	100	1.5%	100	1.6%
債権流動化	150	2.3%	106	1.7%
計	6,475	100%	6,092	100%

有利子負債構成比



-前下半期の急激な金融不安が沈静化に向かい、調達環境が改善
 -有利子負債平残の減少やCP発行レートの下等による影響で資金原価は前年同期比7億円減少し、資金原価率も金融危機前の水準(08/3期 1.01%)を下回るレベルに改善
 ・より安定的な低利資金を確保する為に、調達手段の多様化を検討

2. 第3次中期計画の進捗状況

1) 第3次中期計画（2008年3月発表）の概要

-中期計画策定時の状況・・・

リース会計基準・税制度の変更、業界再編の加速、金利の上昇のインパクト、収益面での出遅れ
-急速な変化に対応し、新たな成長を目指す第3次中期計画を前倒しで策定。第3次中期計画の遂行による事業基盤再構築を目指す

新たな事業ドメイン		
注力事業		既存事業
金融ソリューション	資産ソリューション	ベンダーソリューション

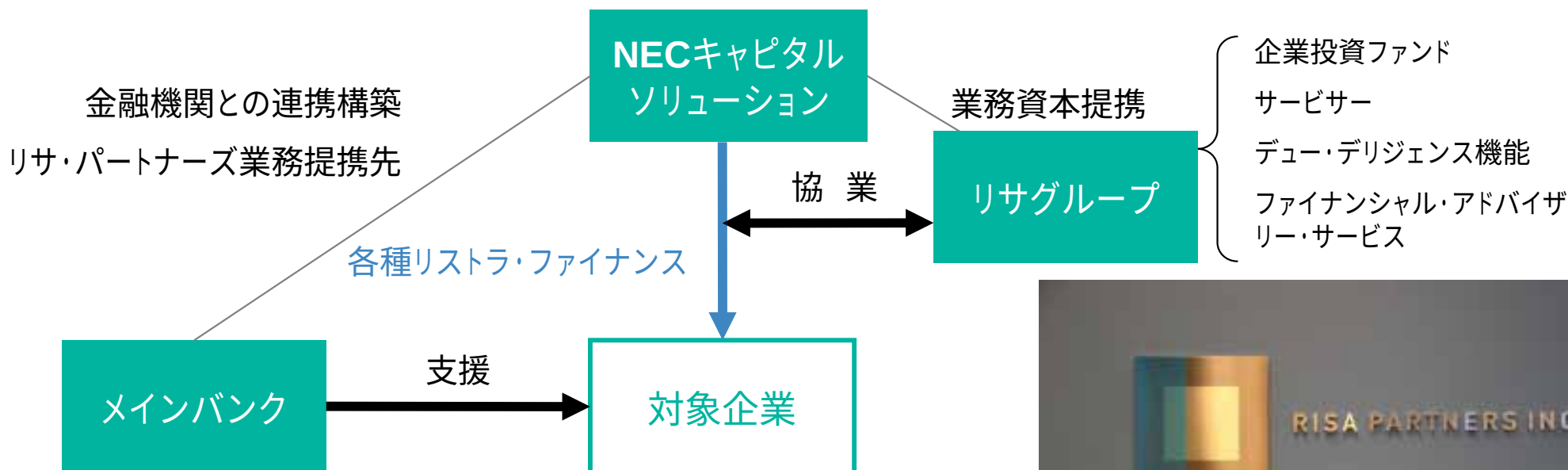
経営戦略		
(1) 事業ポートフォリオ戦略	(2) 経営機能強化戦略	(3) ガバナンス強化/CSR
① 5つのコア事業 ② 事業戦略各論	① 連結経営強化 ② BPR推進策 ③ ERM強化策 ④ 人材マネジメント策	① ガバナンス強化 ② CSRの推進

2. 第3次中期計画の進捗状況

2) 事業ポートフォリオ戦略の進捗状況

金融ソリューション

- (株) リサグループとの協業開始
 - ・リサ及び地域金融機関との案件情報ルート構築による新規案件の獲得
- Ex)** 顧客業種・・・造船、酒造等



各種リストラ・ファイナンスとは...

ーメインバンクとの連携を基本に、リサグループと協業して取組む各種ローン、流動化、ファクタリング、ABLなど。



2. 第3次中期計画の進捗状況

2) 事業ポートフォリオ戦略の進捗状況

資産ソリューション

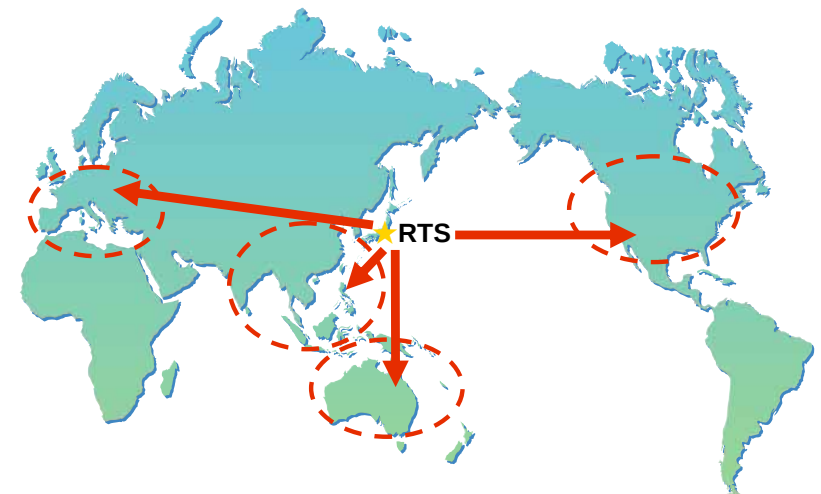
- ICT資産管理サービス (PC-PIT) の拡大
- リブートテクノロジーサービス (株) の本格稼働
- NEC、NECモバイリングとの協業による新たなレンタルモデルを開始

ICT資産管理サービス (PC-PIT) の拡大



Professional IT Service

リブートテクノロジーサービス主要輸出先



通信モジュール内蔵PC + 高速無線通信サービス



高速無線通信サービス

2. 第3次中期計画の進捗状況

3) 経営機能強化戦略、ガバナンス強化策/CSR強化策の進捗状況

経営機能強化戦略

- システムプロジェクト (基幹システム全面リニューアル、**2012**年稼動予定) の順調な進展
- バランスシートリスクのモニタリング体制の整備
- 中期計画で展開する事業ポートフォリオに合わせた人材育成制度の構築

ガバナンス強化策/CSR強化策

- **IR強化**
 - ・ 重要部門への**IR**兼務者の配置による情報集約体制の強化
- **CSR活動**
 - ・ 環境: ビオトープ造営 (上半期実績: **2**校)
 - ・ 社会貢献活動: リサイクル**PC**寄贈プログラムを通じたリース満了品の寄贈

3. 2010年3月期計画

1) 業績予想 (連結)

(単位: 億円)

	実績		予想	
	2009/3期通期	2010/3期 第2四半期 (累計)	2010/3期通期	前年比
売上高	2,610	1,189	2,430	△6.9%
営業利益	36	51	60	66.0%
経常利益	34	51	60	78.5%
純利益	△38	13	36	-
1株当たり純利益 (円)	△176.75	61.90	167.18	-

1株当たり配当金

	中間期	期末	年間
2010/3期	実績 22円00銭	予想 22円00銭	予想 44円00銭
2009/3期実績	22円00銭	22円00銭	44円00銭

※2009年4月28日に発表した予想と変更はありません

本資料に記載されている株主・投資家向け情報は、投資勧誘・保証を目的として作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、ご利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

本資料に記載されている当社の計画、戦略および業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。

また、本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものでもありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

当社による将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もあります。これらの記述に全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。

Empowered by Innovation

NEC